



## 形原地区 まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

蒲郡市では、地区の皆さまが主な利用者となる公共施設（小学校・中学校・保育園・児童館・公民館）の将来の配置や使い方を示す「地区個別計画」を策定するため、中学校区ごとに「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催しています。本「かわらばん」では、形原地区で実施したワークショップ各回の検討内容をお知らせします。第1回目は7月24日に開催。蒲郡市が抱える課題などを解説し、参加者の皆さまが形原地区に住んでいて思うことを洗い出しました。



### 蒲郡市の最近のなやみごと

#### ① ニーズの変化

社会構造の変化により、共働き世帯や高齢者世帯などが増えてきました。それに伴い、行政に求められるニーズが昔と変化しています。

子育てしやすい環境づくりや高齢者支援充実のため、ソフト(サービス)だけでなく、ハード(公共施設)の面からも対応していく必要があります。



#### ② 人口減少と少子高齢化

全国的に人口減少が進んでいるなか、蒲郡市でも約40年後には人口が約2万人減少すると見込まれています。特に、年少人口・生産年齢人口が減少し、高齢者人口が占める割合が増えると推測されています。

高齢者人口割合の増加により「ヒト」にかかる費用(例：福祉など)が増え、「モノ(公共施設)」にかけられる費用が減っていくことが想定されます。



#### ③ 進む建物老朽化と厳しいお財布事情

公共施設の多くは、人口・経済ともに右肩上がりだった頃に建設されました。蒲郡市でも、市が保有する公共施設のうち約7割が建設後30年以上経過しています。

今後施設の安全性を確保するため、大規模な改修・建替えが必要となってきますが、蒲郡市の財政状況では全ての施設の更新費用を賄うことは難しい現状です。



こうした悩みを解消するため、公共施設を「質・量・投資」の3つの視点から総合的に管理する**公共施設マネジメント**の取り組みが全国的に行われています。

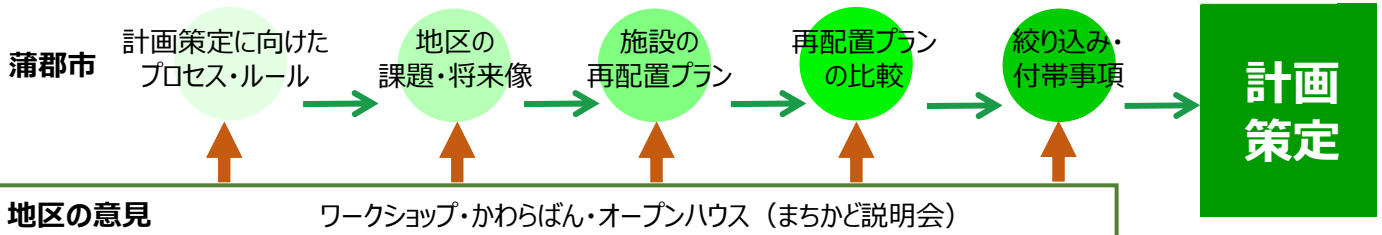
#### 蒲郡市の公共施設マネジメント目標

計画期間 令和4年～28年(25年間)

##### マネジメント目標

- ① 建物更新の際、概ね3割の床面積を削減
- ② 計560億円の費用を捻出
- ③ 公共施設に関する施策の市民満足度の向上

### 地区個別計画が策定されるまで



住民の皆さまが参加するワークショップ、かわらばん、オープンハウスを通じていただいた意見を参考に計画を策定します。

# ワークショップの意見



## 計画策定に向けた検討やワークショップの進め方への意見

## 形原ってどんなまち？

春日浦からの海の眺めは最高！



海もあって、山もある。自然が豊かで住みやすい！

漁業のまち。古くから繊維ロープ工業で栄えてきた歴史あるまちです。



新鮮な魚が水揚げされる！

地区利用型施設だけでなく、地区集会所や公園などとの関係の中で検討したい。



ワークショップでは、どこまで決めるの？



名古屋などへのアクセス面が良好な割に地価が安い！蒲郡の強みだと思う。

ワークショップの進め方として、市民が直接問題点や課題を出して進めていくのは良いと思う。

蒲郡は子育て支援が充実していると思う。18歳までの医療費助成はありがたい！



お年寄りが元気！元気すぎるくらい！



小中学校の再編は教育委員会など専門家が決めれば良いのでは？

形原は地域柄協力的な人が多い。学校と情報共有すると地域の人々の活躍の場が作れると思う。



形原のまちづくりに思うこと



ワークショップ参加者に宿題を出してはどうでしょうか？



まちの魅力が少ない…。今住んでいる若者が、将来も住み続けたいと思うような魅力あるまちを作ってほしい。

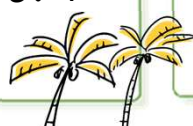
企業を誘致して雇用を創出し、働き手の若い人が蒲郡に住むようになってほしい。



施設整備の際には、他市の新しく良い施設も参考にしたい！



若い世代が移住して来なくなる様なまちにしてほしい！



コロナの影響もあって人とのつながりが希薄になっていることが心配…。

子ども会が消滅してしまった  
地区がある。何とか継続して  
いきたい！



## 公共施設の現状や今後の ことで気になること

古い町並みの残るところは道  
路が狭い。こうした今後の利  
活用が難しい地域があるの  
が課題。



形原中学校の近くにある踏  
切は交通量が多く危険だ  
と思う。

外から見た形原の魅力  
を発信して、インバウンド  
の観光需要を取り込むとい  
うと思う。



現在の公共施設は、利用  
制限があったり予約が取り  
ずらくて使いにくい。

0歳児保育が満員で預けら  
れないことや、アクセスの悪さ、  
狭い駐車場など、保育園は  
課題が多い。

小学校、形原・形原北保育  
園の老朽化が心配…。



小学生、中高生、高齢者そ  
れぞれが気軽に使える施設  
が欲しい。



子どもが減っていく  
ことを考えると、今  
ある3つの保育園を集約し  
てもいいと思う。



児童館と公民館が集  
約すると、子どもと高齢者の  
交流が生まれていいと思う。



公民館はWi-Fiがなかったり  
と、機能面で若者のニーズを  
満たしていない。



形原南保育園は海に近く、  
アップダウンが激しいので、災  
害時には心配。

どこの施設も駐車場が少なく  
て利用しづらい。



地区集会所を世代や目的  
にとらわれず幅広く使用した  
い！



西部市民センター跡地は土  
地の課題もあるが、駅前で  
便利な場所。地元と協議し  
ながら活用を検討してほしい。

ユトリーナ蒲郡の今後の方  
針が知りたい。



地域の人交流できたり、地  
域の良さを生かした遊びがで  
きる場所、スポーツができる  
広い施設が欲しい。

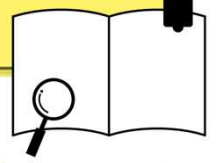




あじさい  
くるりんバスをもっと活用できるといいんだけど…。

乳幼児が安心して遊べる場所が少ない。トイレがきれいな公園ができてほしい！

今ある図書館分室は使いづらい。利用しやすい図書館機能が欲しい！



## ワークショップ後記

夏の暑い中、たくさんの参加者にお集まりいただきました。形原地区では、いつものワークショップと違った様子が。なんと、開催場所である形原中学校の生徒たちが参加してくれたのです！「中学生たち大丈夫かな？」と心配しかけた事務局とは裏腹に、グループワークでは、大人たち顔負けな意見も飛び出したりとなんと立派なことでしょう。各グループにたくさんの刺激をあたえていました。

今住んでいる大人たちもちろんですが、この先彼らのような若者たちが大人になってもずっとこのまちを好きでいてほしい、そんな参加者の願いのこもった心温まるワークショップでした。



## ご意見大募集！

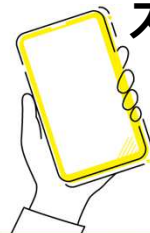
ワークショップに参加している方だけでなく、その他の地区にお住まいのたくさんの方のご意見も募集しています。日々の生活で感じている地域のこと、地区内の公共施設に関するささいなことでも構いません。

**提出方法** 直接、郵便、ファクス、メールで公共施設マネジメント課（下記連絡先）へ。

**記載項目** 住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見・ご感想など

### ご意見・ご感想の例

- ワークショップで検討されている内容について
- 形原地区のまちづくりや公共施設に思うこと（公共施設のここが使いにくい、使い方の提案 ほか）



スマホからも！



## 次回ワークショップ

**日時** 9月10日(土)  
**テーマ** 形原地区の課題と課題解決のためのアイデア

ワークショップの内容は  
10月25日(火)発行の  
かわらばんで



## 問い合わせ先

蒲郡市総務部公共施設マネジメント課  
〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号  
mail k-mane@city.gamagori.lg.jp  
TEL 0533-66-1214 / FAX 0533-66-1183

ワークショップについては  
詳しくはこちらから→

